



## 半導体株市場の振り返りと見通し

### ポイント

- ① 過去約14年間の当ファンドのパフォーマンス
- ② 半導体分野別、株価の動きとPER水準
- ③ 2030年に向けた半導体市場の拡大

### ① 過去約14年間の当ファンドのパフォーマンス

#### 約14年間で約10倍になった「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」

当ファンドの基準価額（分配金再投資）は約14年間で約10倍になりました。この14年間で半導体業界は大きく成長しています。その背景を3つお伝えします。①半導体の用途の多様化：これまでスマートフォン、データセンターの拡大が半導体市場の成長を牽引してきました。今後はIoT、電気自動車向けなど、用途のさらなる多様化が期待されます。②M&Aによる競争環境の改善：半導体市場は過去多数の企業が激しい競争を繰り広げ、値下げ競争に巻き込まれやすいこともありましたが、M&Aによる企業数の減少で、過度な競争環境から脱却し安易な値下げをせず利益が確保できる構造に変化しました。③戦略物資としての半導体：民生用だけではなく軍事用含めて重要な戦略物資として半導体の開発、製造のサプライチェーンを確保しようと各国が莫大な支援を加速しています。このように、私たちの生活を便利にしてくれる半導体は今後もますます重要なセクターとして注目されていくと考えています。

#### 「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」の基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2009年8月27日（設定日）～2023年3月24日、日次

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ② 半導体分野別、株価の動きとPER水準

### ロジック、メモリー、アナログの動き

半導体を用途別に分けると、データセンターやAI（人工知能）など、大量の演算処理が必要なロジック、データの保存などに使われるメモリー、光や音などを感知したり電流・電圧を制御するアナログ半導体に分けられます。

各分野の代表的な銘柄の株価を見ると、どれも現在まで上昇トレンドを維持してきました。その中でもロジック半導体のエヌビディアや、半導体の露光装置などで他が真似できない技術を持つASMLの株価は特に堅調でした。エヌビディアの高性能GPUは、去年は仮想通貨やゲームPC向けなどの需要が減りましたが、足元ではデータセンターやAI向け需要などが堅調で、株価も戻り基調になっています。

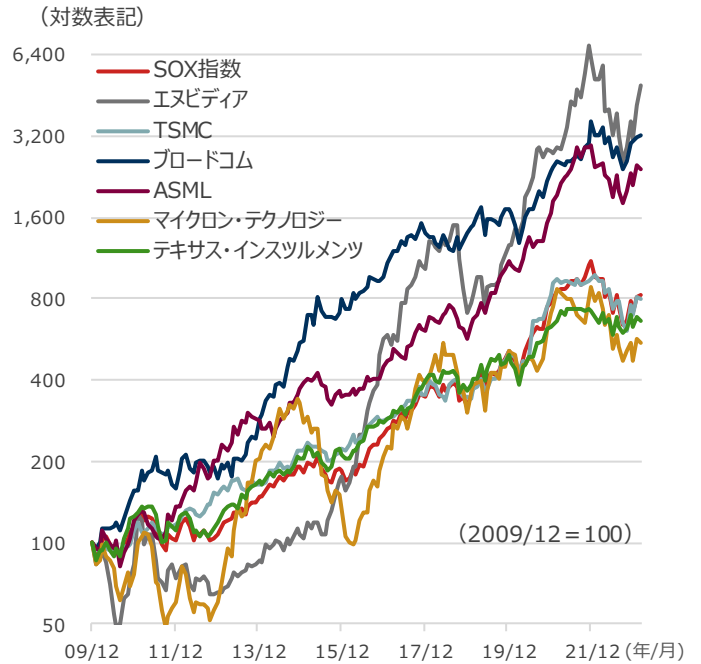
一方で、メモリーの銘柄のマイクロン・テクノロジーの株価は景気の変動を受けやすく長期で株価は上下しております。足元でコロナ禍で需要が大きく伸びたPC、タブレット、スマートフォンなどの反動減が落ち着きつつあり、過剰在庫の処理が進めば今後の業績回復が期待されます。

最後にアナログ半導体大手のテキサス・インスツルメンツの株価は現在まで安定して上昇してきました。足元でも堅調な需要から、株式市場全体が軟調となるなかでもほぼ横ばいで推移しました。

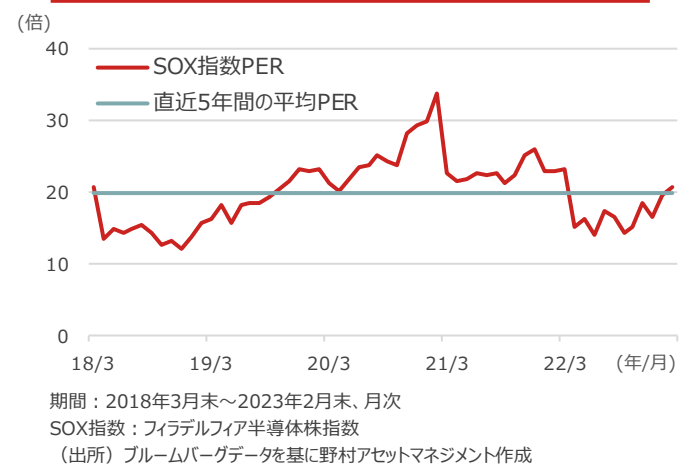
### 足元の半導体株のバリュエーション

SOX指数の直近5年間の平均PERは20倍でした。2月末時点の予想PERは20.6倍であり、過去5年間のPER水準と同程度で、特段の割高感はありません。

### 半導体分野別の代表的な銘柄の株価の動き



### SOX指数のPERと直近5年間の平均PER



上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

### ③ 2030年に向けた半導体市場の拡大

#### 2030年に向けて半導体市場は2倍に自動車向け、Chat GPT、AI

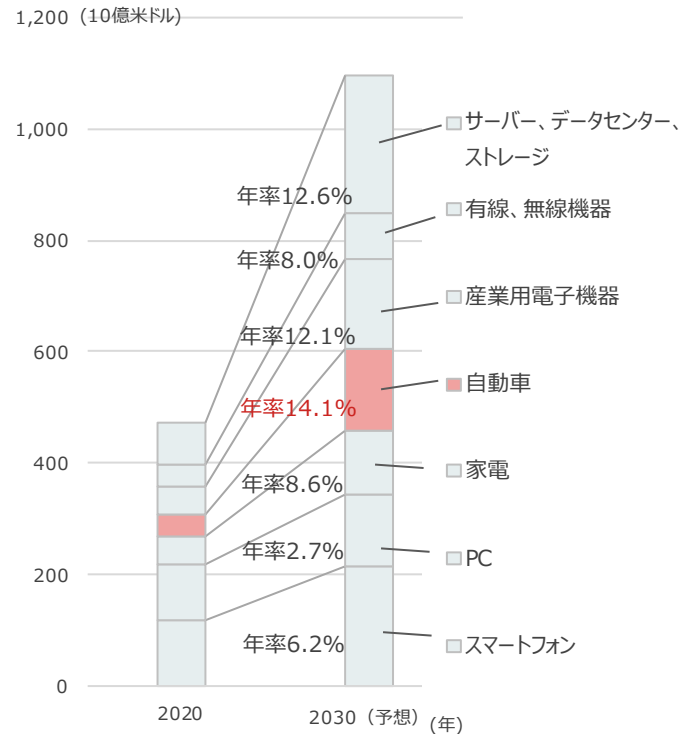
2030年に向けて半導体の市場規模は150兆円(2023年2月末米ドル円の為替TTM136.33円にて計算)になると言われており、2020年の2倍超です。私たちが注目するのは成長率が年率約14%と高い自動車向けです。例えば電気自動車は1台の車に搭載される半導体の搭載量が多く「走るコンピューター」と言われていて成長を牽引します。今後、自動車の差別化は自動運転や、車内のエンターテインメントのクオリティが左右していくと考えられます。

また、今話題の「Chat GPT」などのAI技術も注目されます。人と会話しているかのように自然に受け答えの出来るこの技術には大量の計算処理が必要です。この技術には人間の脳に当たるロジック半導体が多く必要になるため市場では関連する銘柄が注目されています。このような半導体の進化が将来のAIの進化につながると考えています。

#### 半導体企業の財務体質は健全

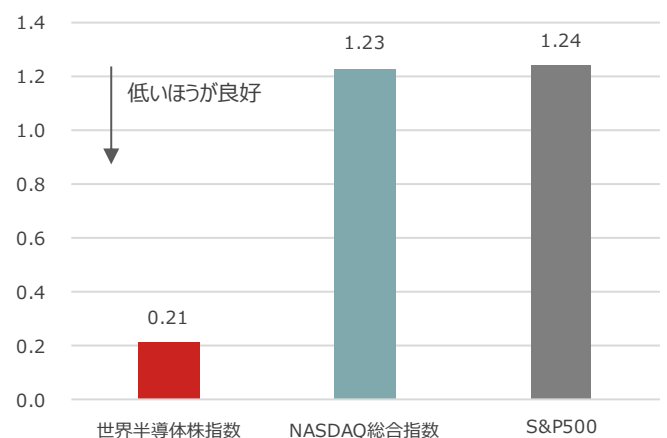
3月10日に米SVBフィナンシャル・グループ傘下のシリコンバレーバンクが経営破綻しました。市場はそれを受けて銀行セクターが主導し下落しました。当面は不透明な投資環境が続くと考えられますが、大手半導体企業の財務は健全であり影響は少ないと考えています。ここで半導体企業の財務の健全性を見ておきたいと思います。世界半導体株指数でみると、負債を企業利益(EBITDA)で割った割合が0.21となっており、ほかの指数と比較して低くなっています。

#### 2030年に向けて拡大する半導体市場規模



期間：2020年と2030年(ASML Annual Reportより)の比較  
分業別半導体世界売上高の予想  
(出所) Statistaデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### 負債÷企業利益(EBITDA)<sup>\*</sup>



<sup>\*</sup> 利払い前・税引き前・減価償却前利益 (EBITDA: Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

期間：2022年12月末時点

世界半導体株指数：MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment

(出所) ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<当資料で使用した指数の著作権等について>

●MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipmentは、MSCI が開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。●Nasdaq Composite®およびNasdaq®は、Nasdaq, Inc. (以下、その関係会社とともに「ナスダック」といいます。) の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックはファンドの合法性および適格性について保証するものではありません。ファンドは、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、ファンドに関して担保責任を負わず、いかなる責任も負担しません。

## 「野村世界業種別投資シリーズ」

## 【ファンドの特色】

- 「野村世界業種別投資シリーズ」は、5本のスイッチング可能なファンドから構成されています。
  - ◆各ファンド(マネーパール・ファンドを除く4つのファンドを総称して「各ファンド」といいます。)
    - 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
  - ◆マネーパール・ファンド
    - 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
- ◆各ファンド

## 世界金融株投資

- ◆世界各国の金融株を主要投資対象とします。なお、優先株等普通株以外の株式、または当該企業に出資するために発行されるその他の有価証券に投資を行なう場合があります。
- ◆株式への投資にあたっては、世界各国の金融株を中心に、各国・地域のマクロ経済見通し等を考慮しつつ、利益構造、財務内容などの観点から個別銘柄のファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。
- ◆ファンドは、MSCI All Country World Financials(税引後配当込み・円換算ベース)※をベンチマークとします。
  - ※MSCI All Country World Financials(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

## 世界半導体株投資

- ◆世界各国の半導体関連企業の株式を主要投資対象とします。
- ◆株式への投資にあたっては、世界各国の半導体関連企業の株式を中心に、各国・地域のマクロ投資環境見通し等を考慮しつつ、技術力、価格決定力、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。
- ◆ファンドは、MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment(税引後配当込み・円換算ベース)※をベンチマークとします。
  - ※MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

## 世界資源株投資

- ◆世界各国の資源関連企業の株式を主要投資対象とします。
- ◆株式への投資にあたっては、世界各国の資源関連企業の株式を中心に、世界全体のマクロ経済見通し等を考慮しつつ、地理的・地質学的条件、生産コスト、価格決定力、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。
- ◆ファンドは、MSCI All Country World Energy & Materials(税引後配当込み・円換算ベース)※をベンチマークとします。
  - ※MSCI All Country World Energy & Materials(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

## 世界ヘルスケア株投資

- ◆世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。
- ◆株式への投資にあたっては、世界各国のヘルスケア関連企業の株式を中心に、各国の医療制度・技術の進展動向等を考慮しつつ、成長性、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行ない、組入銘柄を決定します。
- ◆ファンドは、MSCI All Country World Health Care(税引後配当込み・円換算ベース)※をベンチマークとします。
  - ※MSCI All Country World Health Care(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

MSCI All Country World Financials(税引後配当込み・ドルベース)、MSCI All Country World Semiconductors & Semiconductor Equipment(税引後配当込み・ドルベース)、MSCI All Country World Energy & Materials(税引後配当込み・ドルベース)、MSCI All Country World Health Care(税引後配当込み・ドルベース)は、MSCI が開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。またMSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- 株式の組入比率は、原則として高位を基本とします。ただし、現地市場が休場等の場合や市況動向によっては、一時的に株式組入比率を引き下げる場合があります。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- 運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

世界半導体株投資は、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。世界半導体株投資が投資対象とする世界各国の半導体関連企業の株式市場には、寄与度(市場の時価総額に占める割合)が10%を超える、もしくはを超える可能性が高い銘柄(支配的な銘柄)が存在すると考えられます。投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

## ◆マネーパール・ファンド

## マネーパール・ファンド

- ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象※とします。
  - ※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
- ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

- 「野村世界業種別投資シリーズ」を構成する5本のファンド間で、スイッチングができます。
- 原則、毎年6月28日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
  - 分配金額は、分配対象額の範囲内で基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
  - \* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 「野村世界業種別投資シリーズ」

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
 「マネープール・ファンド」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

- 信託期間 2027年6月28日まで(2009年8月27日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則6月28日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
なお、「マネープール・ファンド」は、スイッチング以外によるご購入はできません。  
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各ファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネープール・ファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「野村世界業種別投資シリーズ」を構成するファンド間で、スイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各ファンドは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ロンドンの銀行 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

(2023年3月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、各ファンドから「マネープール・ファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各ファンド】 ファンドの純資産総額に年1.65%(税抜年1.50%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネープール・ファンド】 ファンドの純資産総額に年0.605%(税抜年0.55%)以内(2023年3月23日現在年0.00121%(税抜年0.0011%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用(「マネープール・ファンド」を除く)、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各ファンド】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープール・ファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
 応じて異なりますので、表示することができません。  
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## 《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

## ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
 一般社団法人日本投資顧問業協会/  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。